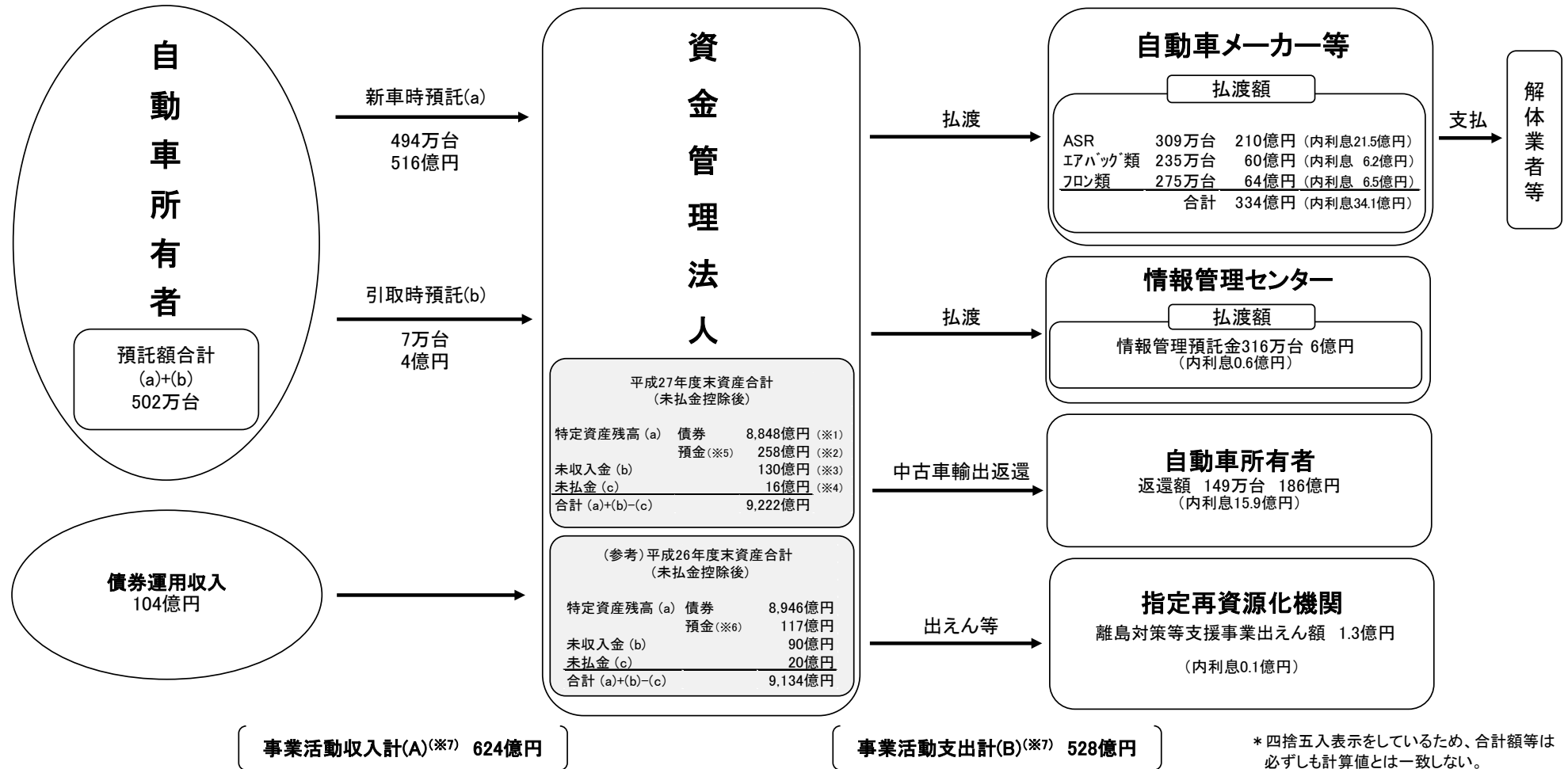


平成27年度における再資源化預託金等の流れ



* 四捨五入表示をしているため、合計額等は必ずしも計算値とは一致しない。

次の(※1)から(※4)は、資料3-2「平成27年度 再資源化預託金等特別会計 決算報告書(案)」における3ページ目の「再資源化預託金等特別会計 財産目録(案)」の貸借対照表科目に対応している。

(※1) (固定資産)「再資源化預託金等特定資産」における「有価証券」の金額

(※2) (固定資産)「再資源化預託金等特定資産」における「普通預金」及び「別段預金」の合計金額

(※3) (流動資産)「未収入金」の合計金額

・資金移動の事務効率化を目的として、資金管理料金会計から預託金会計への資金移動の取回しを変更したため、平成26年度と比べて約40億円の差が生じた。

(※4) (流動負債)「未払金」の合計金額

(※5) 預金258億円の主な内訳 : 年度末の入金:0億円、流動性確保額:30億円、債券未取得額:228億円

・「年度末の入金」の0億円について : 預託金運用業務の質向上を図るために、満期償還金・利息に係る月末入金分を即時に運用可能額として扱う取回しに変更。

・「流動性確保額」の30億円について : 中古車輸出に伴う返還実績金額の2ヶ月分としている。

・「債券未取得額」の228億円について : 日本銀行による金融緩和策の影響から、取得対象の国債の利回りがマイナスとなり、平成28年2月及び3月は国債の取得を行わなかった。

(※6) 預金117億円の主な内訳 : 年度末の入金:89億円、流動性確保額:25億円

(※7) 事業活動収支差額(A)-(B) 96億円